

“50th Anniversary”

未来への歩み

～Challenge of the Jaycee～

2011年度理事長 大西伸弥

2011年度、社団法人豊岡青年会議所は創立50周年という大きな節目を迎えます。1961年、43名の先輩方が大いなる希望を抱きこの組織を立ち上げられました。以来50年間、延べ270名を超える先輩方の熱き想いと活動により、今日の青年会議所が存在いたします。この節目の年を迎えるにあたり、青年会議所に所属し活動出来ることに心を震わせるほどの大きな喜びと責任の重さを感じると共に、今後私たちが熱き想いのもと活動するためにも、青年会議所を続けている意味、続けていく意義を考え、更なる成長へのステップとして、新たなる可能性に向かい歩いていく年とする所存でございます。

青年経済人として

青年会議所メンバーの活動の場は地域社会であります。私たちの住む豊岡市においても、経済の悪化、少子高齢化問題、青少年問題など、いまだ先行きの見えない状態が続いています。しかし、その問題以上に深刻なことは、報道情報や社会状況に不安がり、危機感を感じていても不平不満を語るだけで、解決への方途を考えず議論も行動もしない状況があることです。青年会議所の目的は地域社会を明るく豊かにすることであり、その実現のためになにをどうするべきかを考え、具体的に行動することを基本的な活動としています。私たちはその目的を達成するために多くの議論を行い、それらのことに対して行動できるための力を付けるべく切磋琢磨し、資質を高める必要があります。青年会議所の活動を通じて、青年経済人としてふさわしい見識や決断力、手法や知識を身に付け、そして、この組織で習得したものを地域社会で発揮するからこそ、青年会議所の価値があるものだと確信をいたします。

提言と実践のできる集団へ

幾重もの歴史の中、青年会議所は多くの事業を行ってきました。これまでのJC運動や活動による地域社会に対して培われた信頼は簡易に得られるものではなく、これこそがこの組織の強さでもあります。このような組織に育て上げてこられたことに感謝すると共に、私たちはこの組織から学ぶことの出来る経験を、地域の可能性に取り組む喜びを、すばらしい友を得られる機会を創り続け、これからも地域社会で活躍できる個と組織へなるべく歩むことが大切であると考えています。それらを実現するためには、これまでの慣例に頼るのではなく、何をなすべきなのかを自分自身で考え、より意味のあるものに変化させることが必要であり、そのためにも情熱と行動力のある「チャレンジするJaycee」になることが不可欠であります。そして、私たちの地域社会への運動は、これからもこの地域の明日を切り開くためのものでなければなりません。そのためには未来に先駆けた運動を行うこと、LOM一丸となって行動することが大切であり、このような運動を効果的に行うためにも、青年会議所が統制のとれた「提言と実践のできる集団」に進化し、より個が成長できるLOMになるべきであると考えます。そのようなLOMを目指すためにも、本年度は青年会議所の基本となる第1例会の充実を図り、事業計画一つにしても何のために行うのかという根底の部分に対して考えられるよう、組織のシステム改革を実施いたします。そして、委員長を中心としてメンバーの心がひとつになれる委員会運営を、LOM事業達成へ向かうために一丸となれる組織運営を実践していきます。

私たちの住む地域には様々な課題が山積みとなっています。私たちはその課題に対し市民目線で考え調査を行い、地域課題解決に向かうための提言や実践ができるよう市民参画の機会創出を行うと共に、自分たちの地域の

課題は自分たちで解決していくという意識向上へと導くことが重要であると考えています。そのためにも私たちはこれからの地域社会を創造していく開拓者として、市民と協働してまちづくりに取り組める運動を行っていきます。

上記の意を実行すべく、本年度の委員会構成は以下の5つの委員会と会員拡大特別委員会、そして創立50周年特別事業実行委員会で行ってまいります。

- ・ 総務委員会
委員会の中心である総務委員会は広報活動を含めたLOMの総合的な運営を効率的に行います。
 - ・ 国際関係委員会
姉妹締結45周年を迎える大韓民国全州青年会議所との交流をこれまでの経験をもとに実践し、未来へ繋がる国際交流を行います。また日本JCや諸団体の国際関係事業への参加に関することを担当します。
 - ・ 会員交流委員会
会員の交流を基本とし、OB諸兄との交流や親睦を推進します。また日本JCや諸団体の事業への参加に関することを担当します。
 - ・ 指導力開発委員会
新会員育成を担うと共に、Jayceeとしての資質向上を目指します。またその姿を通じて会員意識の高揚を図ります。
 - ・ 地域プロジェクト委員会
地域の課題について、CDサイクルを活用したまちづくりを行い地域の発展に取り組めます。
- ※ 会員拡大特別委員会
LOMの最重要課題と位置づけ、JC活動そのものを揺るがす事項であるとの認識を持ち、青年会議所の目的や意義、活動への情熱を候補者に対して伝えられるよう意識を高め、メンバー全員で会員拡大に取り組めるように務めます。
- ※ 創立50周年特別事業実行委員会
各委員会と調整を図りながら、創立50周年特別事業を総括します。LOM一丸となって取り組めるように務めます。

そして公益法人制度改革に関しては、これまで取り組んできた勉強会や多くの議論を骨子とし、その方向性を決めるべく開催した総会での決議を受け、一般社団法人格取得に向けた移行への準備を進めていきます。

We Believe

40歳までという時間の決められた中、様々な経験をする事が出来る青年会議所。今の時代、地域でも企業でも家族や子どもに対してでも、メンバー一人ひとりがやらなければならないことが多くなっているのが現状です。そのような現代におかれるなかで、すぐに役立つかわからない経験をする事は、大きなプレッシャーや負担になると感じるメンバーも多いでしょう。しかしながら「経験こそ人を育てる」のであります。古くから「苦労は買ってでもしろ」と言われるように、自分自身の力を最大限に発揮し、大きな壁を乗り越えることによって少しずつ成長する、この繰り返しがあるからこそ可能性は無限に広がるのです。そして、多くのメンバーがその経験をすることが「明るい豊かな社会を築き上げる」ための第一歩となるのです。

目を輝かせながら地域や企業の未来を語るメンバーがいる組織ってすばらしいと思いませんか。心躍らせながら地域事業や子どもの未来に対し活動するメンバーがいる組織って誇らしく思いませんか。

次の時代もいつの時代も、地域社会から必要とされるJayceeでありJCであり続けるために、仲間を信じて、50周年という貴重な機会を一杯楽しみながら共に歩んでいきましょう。